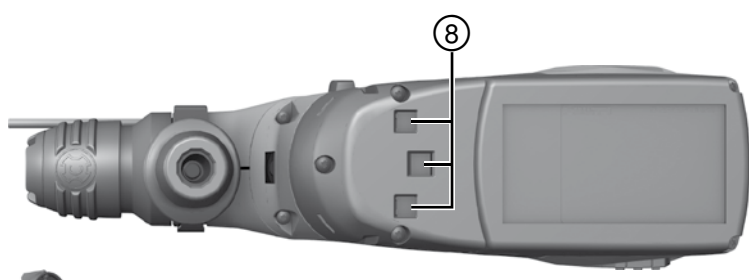
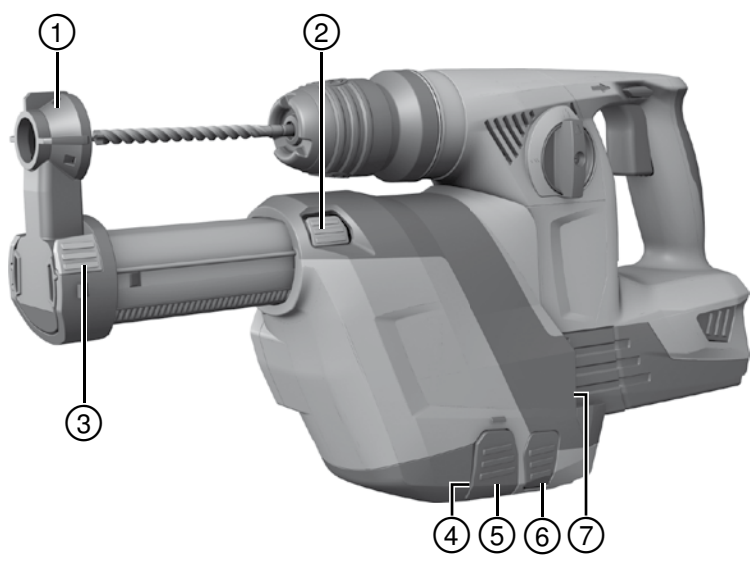
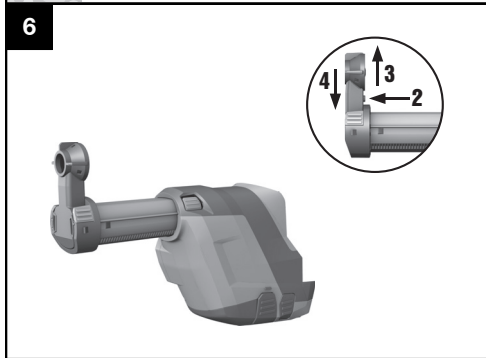
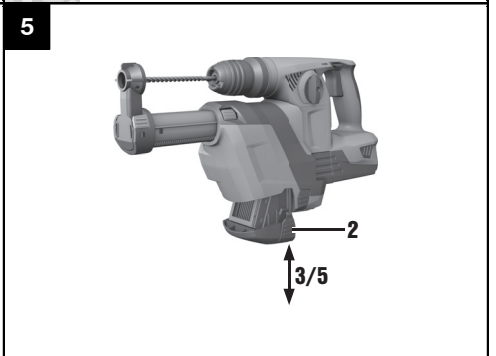
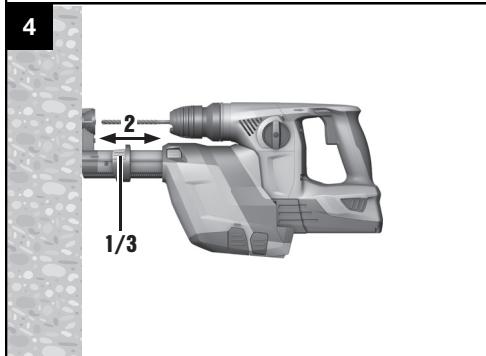
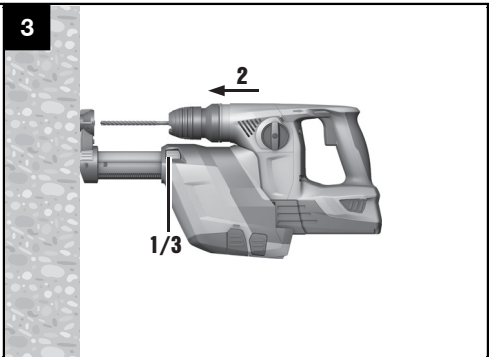
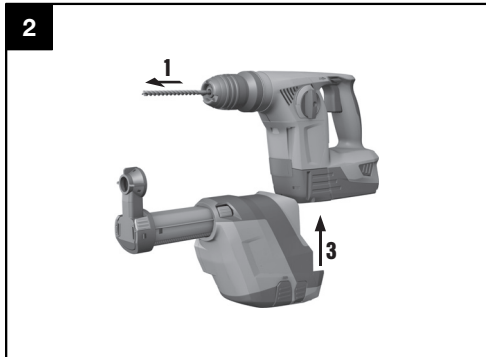


Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Οδηγίες χρήσεως	el
Инструкция по эксплуатации	ru
Kullanma Talimatı	tr
دليل الاستعمال	ar
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
ІНСТРУКЦІЯ З ЕКСПЛУАТАЦІЇ	uk
Пайдалану бойынша басшылық	kk
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操作說明書	zh
操作说明书	cn



1





TE DRS-4-A 集じんモジュール

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書と一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	71
2 安全上の注意	72
3 製品の説明	72
4 製品仕様	72
5 ご使用前に	72
6 ご使用方法	73
7 手入れと保守	74
8 故障かな? と思った時	74
9 廃棄	74
10 本体に関するメーカー保証	74
11 EU 規格の準拠証明 (原本)	75

❶ この数字は該当図を示しています。図は取扱説明書の冒頭にあります。
この取扱説明書で「モジュール」と呼ばれる工具は、常に TE DRS-4-A 集じんモジュールを指しています。

各部名称 ❶

- ① サクションヘッド
- ② ストロークリミットボタン
- ③ デブスゲージ
- ④ フィルター付きダストコンテナ
- ⑤ ダストコンテナのロック解除ボタン
- ⑥ DRS のロック解除ボタン
- ⑦ ガイド (ドリル本体)
- ⑧ ドリル本体のカバースライダー付き電気接続部
- ⑨ DRS の電気接続部

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示



一般警告
事項

義務表示



ご使用前に取扱説明書をお読みください

機種名・製造番号の表示箇所

機種名はモジュール上に表示されています。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、必ず当データを引用してください。

機種名 : _____

製品世代 : 01 _____

製造番号 : _____

2 安全上の注意

注意！ 注意事項のすべてをよくお読みください。ご使用のヒルティロータリーハンマードリルの取扱説明書に記載されている安全上の注意を遵守してください。注意事項に従わない場合、重大な負傷をまねく恐れがあります。安全ガイドを大切に保管してください。

TE DRS-4-A が取り付けられている場合でも、あらゆる用途にヒルティロータリーハンマードリルのサイドハンドルを使用してください。

2.1 塵埃

当モジュールは発生した塵埃をかなりの割合で集じんしますが、全て残らず集じんするわけではありません。

警告事項：粗削り、研磨、切断、穿孔により生じた粉じんの中には、発がん性物質として知られている化学物質や、出産時に障害を及ぼしたり、不妊症、気管

障害あるいはその他の障害をもたらす化学物質が含まれているものもあります。化学物質の一例としては、含鉛塗料の鉛やレンガ、コンクリート、石材、天然石の結晶石英あるいは化学処理が施された建材の珪素およびクロムが挙げられます。このような作業をどのくらいの頻度で行うかにより、被る危険性は変わってきます。このような化学物質による負担をできるだけ少なくするために、使用者および周囲の人は、換気の良い場所で作業を行い、安全装備を使用してください。特定の粉じんに適しており、微粒子を通さず、粉じんを顔や身体から遠ざける防じんマスクを使用してください。粉じんに長時間触れないようにしてください。保護服を着用してください。粉じんに触れた場合、石鹸と水で洗ってください。口や鼻、目から粉じんを取り込んでしまったり、粉じんが肌に長時間触れていた場合、健康を脅かす化学物質の摂取を促進する可能性があります。

3 製品の説明

3.1 正しい使用

TE DRS-4-A (01) 集じんモジュールはヒルティ TE 4-A22 (02) ロータリーハンマードリル専用のアクセサリーです。

TE DRS-4-A は、乾いた無機物母材の加工用の吸じんシステムです。

金属や木材への穿孔には、当集じんモジュールは適しません。

当モジュールはプロ仕様で製作されています。当モジュールの使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人に限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。

当モジュールおよび本体の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

けがを防止するため、当モジュールはヒルティ TE 4-A22 ロータリーハンマードリルにのみ使用してください。

モジュールの加工や改造は許されません。

健康に害を及ぼす危険のある母材（アスベストなど）の加工については、各国の規定に従ってください。

4 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

モジュール	TE DRS-4-A
消費電力	60 W
消吸引能力	250 l/min
重量	1.0 kg (2.2 lb.)
有効長	Max. 96 mm (3 ²⁵ / ₃₂ ")
使用 TE-C ハンマードリルビット、φ	5... 16 mm (3 ¹⁶ / ₃₂ ...5/8)

5 ご使用前に

注意

設定作業を行う前に、本体のスイッチがオフになっていること、バッテリーが取り外されていること、およびスイッチオンロック（正回転/逆回転切り替えスイッチが中立の位置）が有効になっていることを確認してください。

5.1 集じんモジュールの取り付け 2

注意事項

フィルターが一杯になると塵埃が溢れることがあるので、フィルターは定期的に空にしてください。防じんマスクを着用してください。

注意事項

集じんモジュールに内蔵されているサクシオンファンは、専用モーターから動力を得ます。このモーターの電源は本体バッテリーから供給されます。

注意事項

集じんモジュールを取り付ける前に、本体への固定ポイント、特に本体の電気接続部に埃や他の障害物がないことを確認してください。集じんモジュールを取り付けた後は、正しく固定されていることを確認してください。

注意事項

充電式ドリルの場合は、正回転 / 逆回転切り換えスイッチを中立位置にしてください。

1. ドリルビットを本体から取り外します。
2. デプスゲージをサイドハンドルから取り外します。
3. 集じんモジュールをドリル本体のガイドに沿って、ロックされるまで挿入します。

5.2 集じんモジュールの取外し

1. ドリルビットを本体から取り外します。
2. DRS ロック解除ボタンを押して、その状態を保ちます。
3. 集じんモジュールを本体から下方へ引き抜きます。

6 ご使用方法

6.1 準備

注意

設定作業を行う前に、本体のスイッチがオフになっていること、バッテリーが取り外されていること、およびスイッチオンロック（正回転 / 逆回転切り換えスイッチが中立の位置）が有効になっていることを確認してください。

6.1.1 長さの調節（ストローク長の調節） 3

注意

ストロークリミットボタンを押すと、テレスコープ部分ロック解除されて最大 100 mm (3¹⁵/₁₆") 飛び出ることがあります。

注意事項

通常、ストローク長はドリルビット全長 170 mm (6") に調節されています。これより短いドリルビットの場合は、ストローク長を適切に調節する必要があります。

1. 長さを調節するには、ストロークリミットボタンを押して、その状態を保ちます。
2. ドリルビットを装着したドリル本体を壁に当て、ビットが壁に触れるまで押し付けます。
3. ストロークリミットボタンから指を放します。

6.1.2 穿孔長の調整（デプスゲージ） 4

注意事項

アンカー施工用の穿孔などで正確な穿孔長が必要な場合は、試し穿孔を行って穿孔長を点検してください。

1. デプスゲージのボタンを押し、その状態を保ったまま、希望の穿孔長になるまでリングをずらしません。
2. デプスゲージのボタンから指を放します。

6.2 操作

注意

ご使用のヒルティロータリーハンマードリルの取扱説明書に従ってください。けがを防止するため、当モジュールは「正しい使用」の章で挙げたドリル本体にのみ使用してください。

警告事項

健康に害を及ぼす危険のある母材（アスベストなど）の加工については、必ず各国の規定に従ってください。

6.2.1 ダストコンテナを空にする 5

注意事項

フィルターが一杯になると塵埃が溢れることがあるので、フィルターは定期的に空にしてください。防じんマスクを着用してください。

注意事項

清掃の際、フィルター部品に触れないでください。また圧縮エアによる清掃は避けてください。フィルター部品を損傷することがあります。

1. ドリル本体を水平に保ち、短時間作動させます。これで集じんモジュールに溜まっていた塵埃の残りがダストコンテナに吸引されます。
2. ダストコンテナのロック解除ボタンを押して、その状態を保ちます。
3. ダストコンテナを集じんモジュールから下へ引き抜きます。
4. ダストコンテナを軽く叩いて塵埃を取り去ります。塵埃が溢れないように、コンテナは適時空にしてください。
5. 空のダストコンテナを下から集じんモジュールにはめ込み、ロックします。

7 手入れと保守

7.1 モジュールの手入れ

注意

水、オイル、グリス、洗剤は使用しないでください。

集じん装置の清掃には、必ず乾いたブラシと清掃用の布を使用してください。防じんマスクを着用してください。

7.2 サクションヘッドを交換する

1. 集じんモジュールを本体から取り外します。

2. サクションヘッドのリリースボタンを押して、その状態を保ちます。
3. 古いサクションヘッドをガイドから上方へ引き出します。
4. 新しいサクションヘッドをガイドに挿入し、ロックされるまで押し込みます。

7.3 保守

モジュールの全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、モジュールを使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

8 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
塵埃が溢れ出る	ダストコンテナが満杯	ダストコンテナを空にする
	フィルターの故障	フィルターを交換する。
	サクションヘッドの故障	サクションヘッドを交換する
	サクションヘッドブラシの摩耗	サクションヘッドを交換する
ドリルビットがサクションヘッドの中央にこない	集じんモジュールが本体に正しく装着されていない	集じんモジュールを本体に正しく装着する

ja

9 廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

10 本体に関するメーカー保証

保証条件に関するご質問は、最寄りのヒルティ代理店・販売店までお問い合わせください。

11 EU 規格の準拠証明 (原本)

名称 :	集じんモジュール
機種名 :	TE DRS-4-A
製品世代 :	01
設計年 :	2014

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します : 2004/108/EG、2006/42/EG、2011/65/EU、EN ISO 12100.

**Hilti Corporation、Feldkircherstrasse 100、
FL-9494 Schaan**



Paolo Luccini
Head of BA Quality and Process
Management
Business Area Electric Tools &
Accessories
07/2014



Tassilo Deinzer
Executive Vice President

Business Unit Power
Tools & Accessories
07/2014

技術資料 :

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423/234 21 11

Fax: +423/234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
Pos. 8 | 20140922



2102962